

学びと
共鳴編

中京マチビト



「終活×空き家」

Café 開催報告

自治連合会や各種団体で活動される方、NPO等で活動される方など、様々な方たちで中京のまちづくりに関わる方(マチビト)がおられます。その方たちが集い、ざっばらんに語り合っていたら、それが「中京マチビトCafé」です。

開催日時：平成29年9月3日(日)
午後2時～4時半(開場午後1時半～)
場所：中京区役所4階第1会議室
参加者：47名(運営スタッフ除く。)

1 今回の目的

- 実家の片づけや自身や家族の終活について考えるきっかけ作り
- 相続等について整理する機運を高め、空き家の活用やその発生を防止する土壌作りを図る。

2 プログラム

1 オープニング

- ・谷口座長の挨拶
- ・プログラムの説明
- ・自己紹介



2 学び

- ・まちづくり司法書士事務所代表、京都司法書士会理事 石田光曠さんによる『空き家発生予防の「おしかけ講座」』
- ・実家片づけ整理協会 渡部亜矢さんによる『磯野家のあるあるから学ぶ』

3 意見交流

4～5人のグループに分かれて意見交流



4 共有・振り返り

意見交流を踏まえたうえで、ゲスト渡部さんへの質疑応答や感想



3 今年度、第1回目の「学びと共鳴編」!

豪華ゲストの講演と「終活×空き家」をテーマに意見交流!

中京マチビト Cafe「学びと共鳴編」は講演で“学び”、皆で同じテーマについて話し合い“共鳴”することを目的としています。今年度1回目となる「学びと共鳴編」は「終活×空き家」をテーマに開催しました。

今回は、ゲストとして京都司法書士会の石田光曠さん、一



般社団法人実家片づけ整理協会の渡部亜矢さんのお二人をお招きしました。講演では、石田さんから京都市の空き家の現状や空き家を発生させないための対策などについて、渡部さんからは磯野家のあるあるをテーマに実際の事例なども取り上げながら実家の片づけ方についてお話いただきました。

講演後、参加者は4～5名のグループに分かれて意見交流を行っていただきました。第1ラウンドでは、「親世代・家族に片づけてほしいことと、それを促すうえで大事な視点やアプローチは？」について、第2ラウンドではメンバーを替えて「学びを踏まえ、自身がやっていきたいことは何か？」についての活発な意見交流が行われました。



講演と意見交流を通じて、参加者の皆様には終活について個人や家族で考えるきっかけや、相続問題や空き家の活用や発生防止についてより興味関心を持っていただくことができたのではないのでしょうか。次回のマチビト Cafe は**平成29年10月18日(水)**です! たくさんの方のご参加をお待ちしています!

発行：中京区役所地域力推進室(中京区基本計画推進会議事務局) Tel075(812)2421

●当日の会場風景



●参加者の声 (一部抜粋)

- 具体的な例を挙げた説明が分かりやすかったです。
- 今後のことを考える気づき、ヒントをいただけて大変良い学びとなりました。
- 親のことじゃなくて、まず自分のことから始めようと思いました。
- 片づけに対して新しい考え方を知ることができました。
- 片づけというと物を捨てるということかと思っていたが、無理に捨てなくてもいいというのは新たな気づきでした。
- 引き伸ばしていた実家の整理を必ずやろうと決心しました。
- 少しずつ整理をして、無理をしないことが大切だと思いました。
- かつては片づけが苦手だったという方の体験に基づくトークは大変共感しました。
- 今日の話を家族や友人、身近な人に話してみようと思いました。
- 家に帰って早く片づけをしたくなりました。

参加レポート (一部抜粋)

区役所インターンシップ実習生の小林さん (京都府立大学)

途中から実際に皆さんがお話されている中に入り、様々な意見を聞くことができました。今回のテーマは、“終活と空き家”ということで、最初は正直自分とは縁遠い話なのではないかと思ってしまいましたが、話を聞いているうちに自分の親や祖父母世代にいずれ関わってくる話で、決して他人事ではないということに気がきました。そういった点でも、今回参加したことで普段なかなか考えないようなことについて深く考えることができ、貴重な体験になりました。